Perplexity「Multiagent」の知財業務活用ガイド

5段階エフォートの最上位





最大16体の異種AIが並行稼働。

ピア型相互検証メカニズム



AI同士が根拠を相互確認・修正。

マルチモデルでバイアス低減



異種モデル連携で歪みを防止。

Multiagentの技術的特長



知財実務への適用と導入管理

主要業務の適合度と期待効果

業務区分	適合度	主な効果
FTO・無効資料調査	✓	相互検証で調査漏れを防ぐ
知財DD・棚卸し	✓	特許と契約の矛盾を自動検出
競合モニタリング	✓	公開情報のみで低リスクに検証

FTO・DD調査に最適



並列検証や契約矛盾の検出に威力。

3大リスクと機密保護対策



公開情報での検証と厳格な機密管理。

段階的導入ロードマップ



人間の最終確認前提で運用を制度化。

Gemini Notebook